

平成22年4月1日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2006～2009

課題番号：18320103

研究課題名（和文） 歴史史料と中世都市の情報学的研究

研究課題名（英文） An interdisciplinary research on historical sources and cities in the medieval period.

研究代表者

本郷 和人 (HONGO KAZUTO)

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号：80209311

研究成果の概要（和文）：本研究により、1)『現代語訳 吾妻鏡』（既刊8冊、吉川弘文館）の刊行を通して文献史学・考古学・民俗学などの最新の研究成果を踏まえた「歴史情報」を広く一般の方々もアクセスできる形で提供するという所期の研究目的を十分に達成することができた。また2)「鎌倉ヴァーチャルマップ」をGoogleマップ上に公開し、3)都市史研究の新たな方法を提示する「中世都市研究会」を各年度に一回実施し、中世都市研究に新たな地平を開くという目的を達成することができた。

研究成果の概要（英文）：

We produced the following results according to this research expenses.

- 1) We published '*Adsuma-Kagami*' translated into modern Japanese languages in 8 volumes from *Yoshikawa-Kobunkan*. These are based the latest study results of the historical science, archeology, and folklore. A lot of people came to be able to study the history of Kamakura Period through reading these books.
- 2) We opened "*Kamakura* virtual map" to the public on the Google map. This map is a reflection of the result of the research of the archeology in *Kamakura*.
- 3) We held symposiums that researched the history of the city of the Middle Ages four times. In these symposiums, a new method of researching the city of the Middle Ages was proposed.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	4,500,000	1,350,000	5,850,000
2007年度	3,700,000	1,110,000	4,810,000
2008年度	3,700,000	1,110,000	4,810,000
2009年度	3,700,000	1,110,000	4,810,000
年度			
総計	15,600,000	4,680,000	20,280,000

研究分野：日本史

科研費の分科・細目：史学・日本史（細目番号3102）

キーワード：都市史研究、歴史地理学、吾妻鏡、民俗史料、史料学、鎌倉、歴史情報学、考古史料

科学研究費補助金研究成果報告書

1. 研究開始当初の背景

日本史研究の土台となる歴史史料は、文献史料・考古史料・民俗史料など多様な形態を有しており、またそこから導き出すことの出来る情報は豊富なものである。しかし、その利用は、これまで歴史学を専門とする研究者にほぼ限定されてきた憾みがある。

そこで、これらの歴史史料が有する情報を「歴史情報」としてとらえ、それを一般の方々もアクセスできる形で公開する方法を模索することで、歴史学の新たな可能性を拓くことが出来るのではないかと考えた。

そこで、研究代表者がそれまで分担者の一人として加わっていた科学研究費・基盤研究B「吾妻鏡と中世都市鎌倉の多角的研究」(研究代表者、五味文彦)の成果を受けて、1)文献史学・考古学・民族学研究の最新の成果を踏まえて『現代語訳 吾妻鏡』を編纂・刊行すること、さらにこれまで研究を進めてきた中世都市鎌倉をケーススタディとして「鎌倉ヴァーチャルマップ」を作成・公開することを通して、広く一般の方々もアクセスできる形で「歴史情報」を提示する方法を模索することとした。

またその試みは、中世史料学研究・中世都市研究に新たな方法を提示することになると考えた。

2. 研究の目的

上記の研究状況を踏まえて、本研究の目的を以下の二つに設定した。

1) 文献史料・考古史料・民俗史料研究の最新の成果を反映した「歴史情報」の提示の在り方を研究する。

その具体的な研究成果として、『現代語訳 吾妻鏡』を編纂・刊行し、また「鎌倉ヴァーチャルマップ」を公開する。

2) 上記の史料研究の成果を踏まえて、中世都市研究の新たな方法を開拓・提示する。

その研究報告の場として、各年度に一回「中世都市研究会」を開催し、文献史学・考古学・建築史学などの各専門領域の最新の研究成果を土台としつつ、その分野に限定されない広い視野から研究報告を行い、その成果を刊行して新たな研究方法を提示する。

3. 研究の方法

以上の研究目的を達成するため、(a)文献史料研究班・(b)民俗史料研究班・(c)考古史料研究班の三つの研究班を編制し、それぞれの研究成果を(d)総括班が総括するという研究体制を整備して研究を進めた。

具体的には、1)の研究目的を達成するため、2006年度より『吾妻鏡』の現代語訳を進め、2007年11月に『現代語訳吾妻鏡1 頼朝の挙兵』を吉川弘文館より刊行し、以後本科研

の期間内に8冊を刊行することが出来た。これは、『吾妻鏡』の原文に極めて忠実な現代語訳を提供しているだけでなく、文献史学・考古学・民俗学などの最新の研究成果を「注」として反映させたもので、広く一般の方々「歴史情報」にアクセスすることができるという点で画期的なものである。

次に「鎌倉ヴァーチャルマップ」の開発についてである。初年度においては、平成15年度―平成17年度科学研究費補助金「吾妻鏡と中世都市鎌倉の多角的研究」により作成していた鎌倉市の1/100地図のデジタル画像をベースマップとして、そこに発掘報告書の情報と地名にかかわる文献史料情報を反映させるという方法で開発を進めていたが、2006年ごろからWEB上の地図をめぐる環境が劇的に変化したことを受けて、Googleマップをベースマップとすることで広く一般の方々もアクセスできる「歴史情報」を提示するという所期の目的をより達成できると考え、ベースマップをGoogleマップに移行した。そして、2007年度から2008年度に「歴史情報」の集積と集約を進め、鎌倉市及び鎌倉をフィールドとして研究を行ってきた研究者の意見を反映させつつ完成させた。

さらに、これらの基礎研究を土台として中世都市史研究・中世史研究の新たな方法を開拓する機会として、各年度に一回ずつ「中世都市研究会」を開催し、また別にシンポジウムを開催するなどして新たな研究方法の提示に努めた。その成果は、冊子媒体として刊行した。

4. 研究成果

上記の研究を通して、以下の成果を得た。

まず本科研の期間中に『現代語訳 吾妻鏡』を8冊刊行した。最新の「歴史情報」を盛り込んだ現代語訳は幸いにも好評を以って迎えられ、いずれも5,000から8,000部を刊行することができた。本所の刊行により、文献史料・考古史料・民俗史料研究の最新の成果を反映した「歴史情報」の提示の在り方を研究する、という本研究の第一の目的は十分に達成することが出来たと考える。

次に考古史料研究班・総括班を中心に作成・公開を進めてきた「鎌倉ヴァーチャルマップ」は、鎌倉市の遺跡のうち中核を占める「若宮大路周辺遺跡」について完全版をGoogleマップで公開することができた。これまで神奈川県・鎌倉市、さらには民間の団体によってそれぞれ独自に行われてきた発掘の成果を総体的に捉える本研究は画期的なものであった。そのため、本研究の成果を受

けて鎌倉市の当局でも新たな動きを模索し始め、市内に所在する遺跡に統一的な番号を付与すること、また新たに埋蔵文化財センターを設立して研究の成果を総合的に管理することを模索している。

上記の研究成果に加えて、2006年・2007年・2008年・2009年の9月に「中世都市研究会」を開催し、また2006年にはシンポジウム「中世都市鎌倉と極楽寺」を行い、中世都市史研究の新たな方法論を文献・考古・地理学の研究者が活発に議論する場を提供した。これらの成果は、『年報 中世都市研究』などの形で順次刊行している。

また本研究の成果を踏まえて、研究代表者は『天皇はなぜ生き残ったか』（新潮社、2009年）・『天皇の思想—闘う貴族北畠親房の思惑』（山川出版社2010年）をそれぞれ刊行した。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計15件）

- 1) 本郷和人、新田一郎、本郷恵子ほか、長編徹底討論「日本の中世」像を更新する（「日本論」への視角）、ラチオ4、2007、80-119
- 2) 本郷和人、貴族と武士の盛衰、中央公論、122-1、2007、64-67
- 3) 本郷和人、新儀と先例—天皇嗣立の修辞学（日本と東アジアの根本問題—歴史は何を証言するか）ラチオ、2、2006、48-73
- 4) 本郷和人、史料・文献紹介 禁秘抄、歴史と地理、査読有、597、2006、32-36
- 5) 本郷和人、血と家、本、31-6、2006、37-39
- 6) 本郷恵子、歴史随想 「古今著聞集」の「聖母と軽業師」、千葉史学、査読有、50、2007、10-12
- 7) 五味文彦、地域の力を歴史に探る 6 佐渡に根づいた植民文化の力を考える、UP、査読有り、39-2、2010、53-59
- 8) 五味文彦、地域の力を歴史に探る 5 文化財から会津の文化交流の力を考える、UP、査読有、38-12、2009、47-53
- 9) 五味文彦、地域の力を歴史に探る 4 筑波山

に集った人々の力を考える、UP、査読有、38-10、2009、48-53

10)

五味文彦、地域の力を歴史に探る 3 伊勢の湊町に蓄積された復興の力、UP、査読有、38-8、2009、34-40

11)

五味文彦、地域の力を歴史に探る 1 博物館を訪ねて大阪の力を考える、UP、査読有、38-4、2009、24-29

12)

五味文彦、歌聖が見つめた 60 年—異端の公家日記『明月記』を読む、芸術新潮、60-11、2009、40-59

13)

五味文彦、武田信義伝—甲斐源氏の基礎を築く（やまなし学シリーズ(4)「やまなし学研究 2006—山梨の将来 甲斐の国人物伝」の記録）、山梨学院生涯学習センター研究報告、21、2009、56-63

14)

五味文彦、絵巻の詞章と絵、国文学：解釈と鑑賞、査読有、74-5、2009、14-21

15)

鋤柄俊夫、鳥羽殿跡の歴史空間情報的研究・緒論—歴史情報の数量化にかかる考え方への試みについて、文化情報学、2-1、2007、17-36

〔学会発表〕（計5件）

1)

本郷和人、血と家、第1回家系図学会、2009.11

2)

高橋慎一郎、中世寺院における僧坊の展開、第4回考古学と中世史シンポジウム—寺院の社会史、2006.07

3)

高橋慎一郎、鎌倉と災害、第14回中世都市研究会、2007.09

4)

高橋慎一郎、列島の鎌倉時代、シンポジウム列島の鎌倉時代、2009.07

5)

五味文彦、地域史と全体史—地域史の方法、大阪歴史博物館第25回歴史学入門講座、2009.06

〔図書〕（計件）

1)

五味文彦・本郷和人編、吉川弘文館、現代語訳吾妻鏡1 頼朝の挙兵、2007、210

2)

五味文彦・本郷和人編、吉川弘文館、現代語訳吾妻鏡2 平氏滅亡、2008、244

3)

五味文彦・本郷和人編、吉川弘文館、現代語訳吾妻鏡3 幕府と朝廷、2008、232

4)

五味文彦・本郷和人編、吉川弘文館、現代語訳吾妻鏡4 奥州合戦、2008、214

5)

五味文彦・本郷和人編、吉川弘文館、現代語訳吾妻鏡5 征夷大將軍、2009、269

6)

五味文彦・本郷和人編、吉川弘文館、現代語訳吾妻鏡6 富士の巻狩、2009、246

7)

五味文彦・本郷和人編、吉川弘文館、現代語訳吾妻鏡7 頼家と実朝、2009、335

8)

本郷和人、天皇制はなぜ生き残ったか、新潮社、2009、233

9)

本郷和人、天皇の思想一闘う貴族北畠親房の思惑、山川出版社、2010、270

10)

五味文彦、日本の中世を歩く一遺跡を訪ね史料を読む、岩波書店、2009、202

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

○取得状況（計0件）

〔その他〕

ホームページ等

<http://tsukigar.doshisha.ac.jp/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

本郷 和人 (HONGO KAZUTO)
東京大学・史料編纂所・准教授
研究者番号：80209311

(2) 研究分担者

本郷 恵子 (HONGO KEIKO)
東京大学・史料編纂所・准教授
研究者番号：00195637

高橋 慎一郎 (TAKAHASHI SHINICHIRO)
東京大学・史料編纂所・准教授
研究者番号：10242158

(3) 連携研究者

五味 文彦 (GOMI FUMIHIKO)
放送大学・教養学部・教授
研究者番号：60011326

鋤柄 俊夫 (SUKIGARA TOSHIO)
同志社大学・文化情報学部・准教授
研究者番号：40319471

安田 次郎 (YASUDA TUGUO)
お茶の水女子大学・文教育学部・教授
研究者番号：60126191

藤原 良章 (FUJIWARA YOSHUAKI)
青山学院大学・文学部・教授
研究者番号：60173499

近藤 成一 (KONDO SHIGEKAZU)
東京大学・史料編纂所・教授
研究者番号：90153717